

キャプネット・みやぎ Newsletter

No.60

2022年7月



キャプネット・みやぎ第22期 活動報告

は じ め に

代 表 村 松 敦 子

1、コロナ禍3年目。今年は収束してほしいと願います。

コロナ禍での電話相談活動や母親グループ、定例会やスーパービジョン等のキャプネットの活動も、自粛を迫られ、低調の活動でしたが可能な工夫を凝らし続けてきました。

今、対面支援、電話相談活動の継続支援の重要性を再認識しております。

2、キャプネットの22期（2021年4月～2022年3月）の主な活動報告です。

①電話相談は432件（新規35件）でした。前年に引き続き、休止や一人当番体制を迫られた相談活動でした。休止後の再開では継続相談者から待ち望んでいたとの声が寄せられました。前年度は4件あったラインでの相談は22期では新規が2件、継続が3件でした。電話相談員さんは現在31名の稼働です。

②個別支援、市町村（行政）からの個別ケース検討会議への支援要請はありませんでした。

仙台市の要保護児童対策地域協議会の実務者会議は行われ、昨年中止の代表者会議は6月2日に開催されました。

③母親グループは。昨年度県の助成でオンラインで参加できる仕組みを作りましたので活用し、45回中、7回をオンラインのみとしました。顔を合わせたのミーティング（託児付）への参加需要は根強く、感染対策をしっかりと行い開催してきました。新規加入はゼロでしたが、延数84名の参加で、託児は11人と前年の4人に比べ増えました。グループの持つ回復へのダイナミズムを多くの人に知ってもらい、参加者が増えることを願っています。

④予防活動である「楽になりたい子育て講座」（連続6回の講座）は、昨年度同様、1回のみの開催で、しかも第5セッションまでの開催でした。怒鳴らない・殴らない子育てのノウハウは、子どもの育成には不可欠です。

子育ては、誰にでもできる「簡単なもの」などではないのに、相談できる場所はなく、母親一人に押し付けられがちです。しかし、子育ては個人的なものではなく、未来の日本の主権者づくりという面もあります。本来的には国はもっと予算に裏打ちされた政策を打ち出すべき分野です。

キャプネットは、このニーズに応え続けます。

3、コロナという目に見えない脅威に加え、今年2月に勃発したロシアのウクライナへの侵攻は「暴力」の人間に与える影響を見せつけています。プーチンの中に「不安と疑心暗鬼」のヒットラーの影を見るのは私だけでしょうか。

孤立を防ぎ、他者理解の姿勢を持ち続けることが必要です。
今年度もよろしくお願い申し上げます。



1. 電話相談

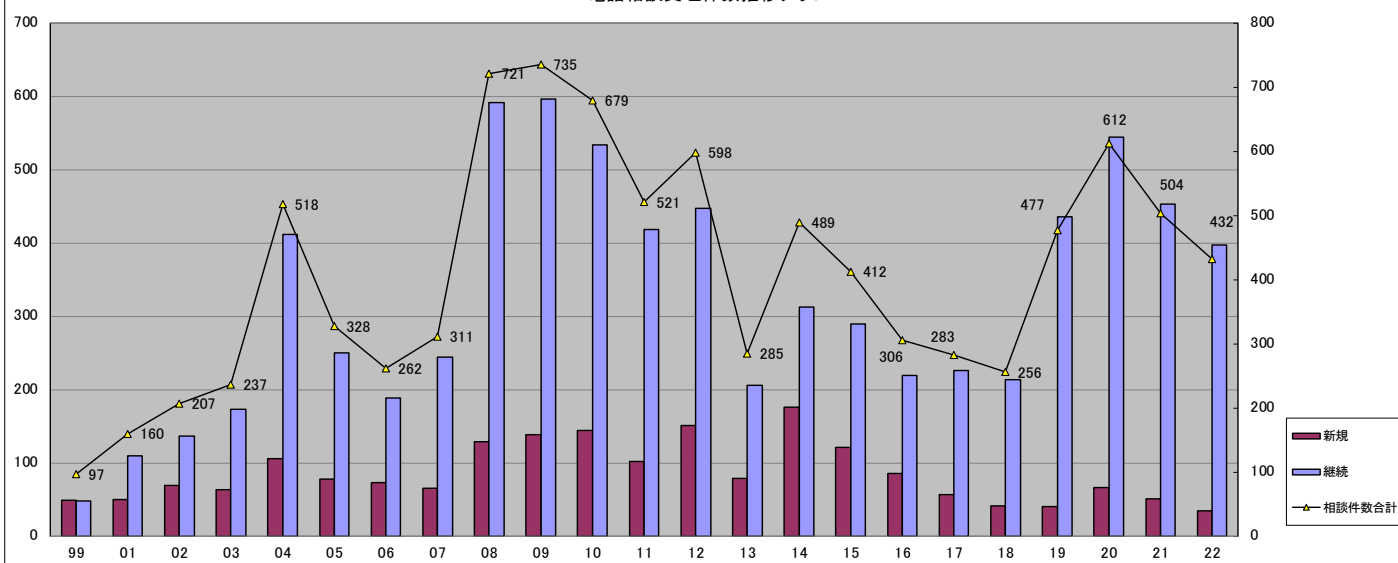
1) 電話相談体制について

電話相談は、22期も新型コロナウイルス感染対策のため、年度はじめと終わりの時期に合わせて約2ヶ月間休止しました。今季も利用者の利益とスタッフの感染対策という狭間で活動の継続に悩む1年でした。電話相談受案件数は432件であり、詳細は以下の通りです。

年 月	受付	回線
1999年10月1期	週1日土曜午後のみ	1回線
2000年5月2期	週2日 月曜 土曜(10:00~16:00)	1回線
2001年2月3期	週3日 月曜・水曜・土曜(10:00~16:00)	1回線
2002年2月4期	週3日 月曜・水曜・土曜(10:00~16:00)	2回線
2007年12月9期	週6日 月曜~土曜(10:00~16:00)	2回線
2010年8月12期	週6日 月曜~土曜(10:00~16:00)	2回線+全国ナビ
2014年10月16期	週6日 月曜~土曜(10:00~13:00)	2回線
2020年4/20~5/6	新型コロナウイルス感染対策による休止	
2021年3/29~5/11	コロナウイルス感染対策による相談員1人当番体制	2回線
2022年1/31~3/13	新型コロナウイルス感染対策による休止	

年 月	電話相談員実働数	1日の当番人員数
2014年15期	38人	4人
2015年16期	40人	前期4人 後期2人
2016年17期	32人	2人
2017年18期	33人	2人
2018年19期	32人	2人
2019年20期	32人	2人
2020年21期	27人(研修生5人)	2人(一部期間1人体制)
2022年22期	31人	2人

電話相談受案件数推移グラフ



第 22 期 電話相談統計 No. 1

調査期間 2021年4月1日～2022年3月31日

稼働相談日数 224日

総受理数 432件

平均受理件数/日 1.9 件

1 電話相談総合統計

稼働日数	224日
------	------

受理件数

内訳	件数
新規	35
継続	397
合計	432

一日平均受理数	1.9件
---------	------

2 新規相談に関する統計(1)

新規相談者性別(n=35)

成人 男	5
成人 女	30
未成年 男	0
未成年 女	0
相談者合計	35

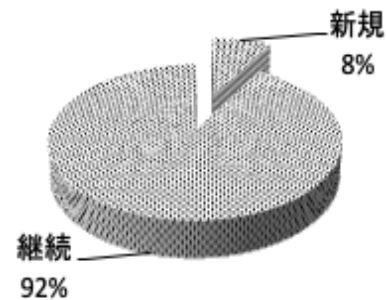
新規相談者内訳(誰がかけてきたか)

虐待者本人(実父)	4
虐待者本人(実母)	10
実父母以外の虐待者	1
被虐待者	2
配偶者・親族	3
近隣・第三者	0
施設・行政機関	1
虐待関連以外	14
相談者合計	35

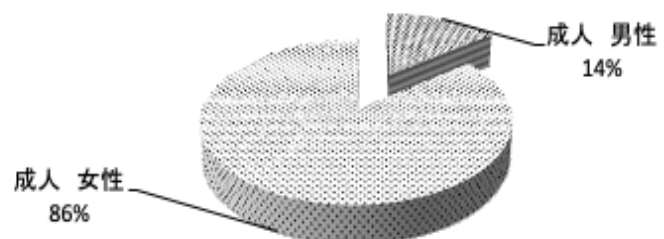
新規相談内容(重複有)

虐待	現在の虐待	12
相談	現在の被虐待	2
	過去の虐待	3
	過去の被虐待	3
	育児不安	17
虐待に 関連し そう な 相談	非行問題	1
	いじめ	2
	不登校	1
	対人関係	2
	家庭内暴力	2
	DV	5
	DV以外の夫婦問題	9
	嫁姑問題	1
	学校・近隣への不満	1
	心の病気	12
	経済苦	2
	その他	3

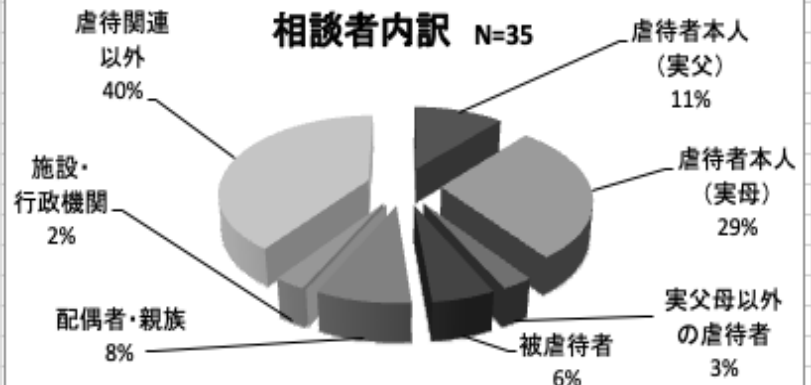
相談内訳 N=432



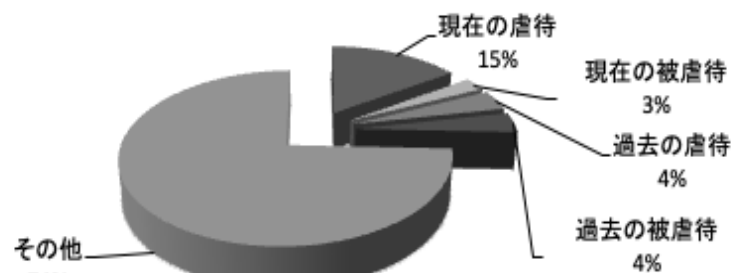
相談者の性別内訳 N=35



相談者内訳 N=35



相談内容内訳 (重複選択)



3 新規相談に関する統計(2)

紹介した機関	
児童相談所	4
医療機関	2
行政福祉事務所	3
母親グループ	1
警察	0
弁護士会	0
他の相談機関	5
その他	2

キャブネット・みやぎの情報源

情報源	件数
リーフレット・カード	2
テレビ・ラジオ	0
講演・研修	0
新聞	0
ホームページ	8
知人・友人	0
行政・他機関窓口	0
自助グループ	2
その他	7
不明	4
合計	23

他機関への相談の有無

機関	件数
児童相談所	4
自助グループ	2
医療機関	5
民生児童委員	0
行政機関	5
家庭裁判所・弁護士	2
その他	4
無し	3
不明	1

4 新規相談 現在の虐待・被虐待に関する待統計

虐待内容の内訳

虐待内容	件数(重複)
身体的虐待	15
心理的虐待	13
ネグレクト	3
性的虐待	3
不明	0

リスク要因

リスク要因	件数(重複)
親のリスク	9
子ども側のリスク	6
家族要因	9
孤立した育児	5
経済苦	2
その他、不明	2

虐待者の居住地

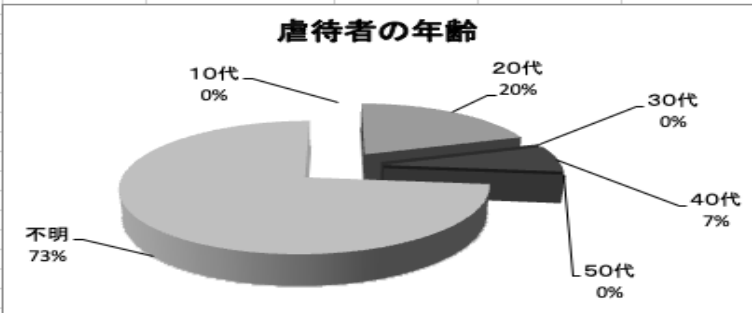
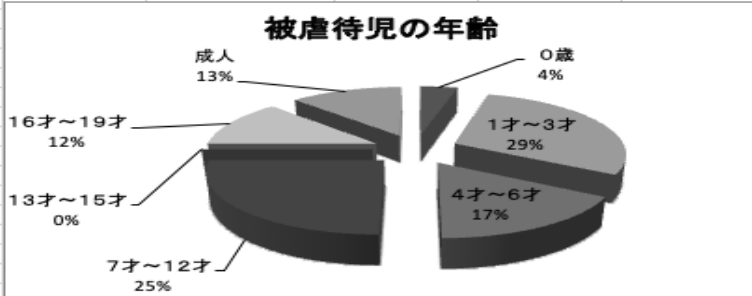
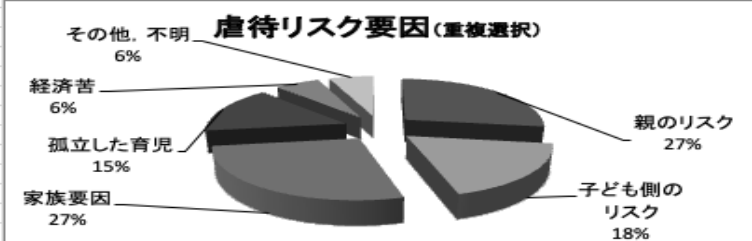
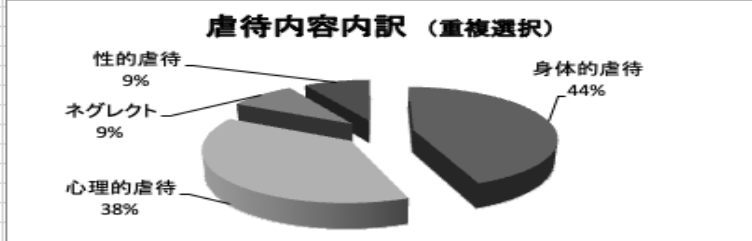
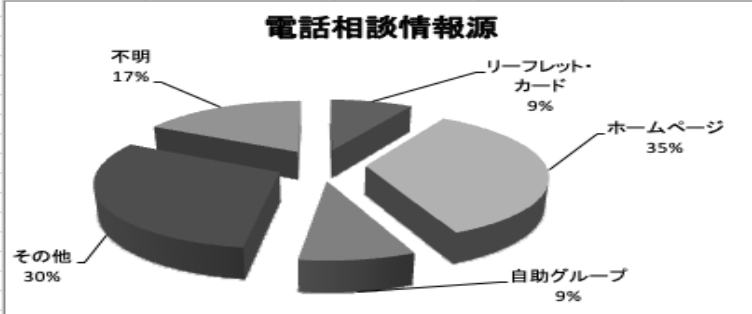
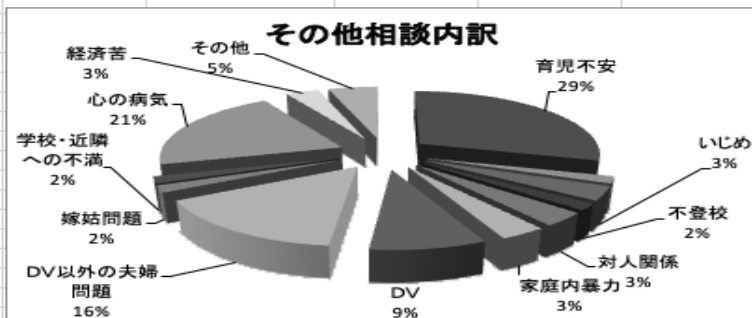
居住地	件数
仙台市	4
県北	6
県南	1
県外	3
不明	7

被虐待児の年齢

年齢	件数
0歳	1
1歳	2
2歳	2
3歳	3
4歳	1
5歳	1
6歳	2
不明未就学児	0
7歳	2
8歳	3
9歳	0
10歳	0
11歳	0
12歳	1
13歳	0
14歳	0
15歳	0
16歳	0
17歳	1
18歳	2
19歳	0
不明就学	0
成人	3

虐待者の年齢

年齢	件数
10代	0
20代	3
30代	0
40代	1
50代	0
不明	11



2) 電話相談員養成講座

電話相談員養成講座は設立当初から継続し、講座としては24期生養成講座となりました。

第24期電話相談員ボランティア養成講座

日時	講師名	講座内容
11月13日(土) 10:00~12:00	弁護士 村松 敦子	子ども虐待とは キャブネットみやぎの活動について
11月20日(土) 10:00~12:00	東北会病院 ソーシャルワーカー 鈴木 俊博	虐待防止の制度と資源
11月20日(土) 13:00~15:00	東北会病院 理事長 精神科医 石川 達	虐待者の支援
11月27日(土) 10:00~12:00	ワナクリニック カウンセラー 大和田 誠子	自分を知るワーク
12月18日(土) 9:00~11:00	東北会病院副院長 小児科医 村田 祐二	虐待の要因と背景

専門(ロールプレイ)講座

日程 2022年 1月15日(土)

時間 講座① 14:00~15:00

講座② 15:00~16:30

第24期電話相談員オリエンテーション

日程 2022年 3月12日

3) 電話相談員研修について

① 相談員グループスーパービジョン研修実施

Kグループ ①7月10日 ②10月9日 ③12月11日

Mグループ ①6月26日 ②7月24日 ③10月23日 ④11月27日

⑤1月22日 ⑥3月26日

Sグループ ①6月10日 ②7月8日 ③10月7日 ④11月11日 ⑤1月13日

② 毎月第2土曜日 電話相談員定例会研修実施

2021年

4月24日 「相談者に寄り添う電話相談の在り方」 オンライン

7月10日 「今、もとめられる性教育とは～キミノトナリの活動をとおして～」

7月26日 「子どもの健やかな成長のために地域でできること」 オンライン

11月13日 キャブネットの活動について

12月11日 相談員の言いっぱなし、聞きっぱなし

2022年

1月 8日 ジャスピカンに参加しての報告

*2月12日と3月12日の定例会は感染対策のため休止としました。

2. 支援活動

1) 地域ネットワーク

22期での地域ネットワークの取り組みは以下の通りです。

地域ネットワーク関連会議

2021年

- 6月 3日 仙台市要保護児童対策地域協議会 代表者会議
- 25日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 29日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 青葉区宮城総合支所要保護児童対策地域協議会 実務者会
- 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 7月 2日 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 13日 富谷市児童虐待防止連絡協議会 実務者会議
- 10月12日 多賀城市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 26日 富谷市児童虐待防止連絡協議会 実務者会議
- 青葉区宮城総合支所要保護児童対策地域協議会 実務者会
- 29日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 11月 1日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 4日 婦人保護事業関係機関ネットワーク連絡協議会
- 12月13日 大和町虐待防止対策地域連絡協議会 代表者会議

2022年

- 2月 8日 富谷市児童虐待防止連絡協議会 実務者会議
- 24日 青葉区宮城総合支所要保護児童対策地域協議会 実務者会
- 25日 泉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 青葉区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 3月 1日 太白区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 2日 宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議

2) 個別支援及び連携ケースについて

2021年度は電話相談等で具体的に面接や訪問等で個別対応したのは1件でした。

NO	相談者	ケース概要	種別	経路	連携利用資源
1	教育機関	成人後も親からの支配的圧力に苦しむ本人の支援先についてSCからの相談。	新規	教育機関健康 管理室	教育機関で本人と面接し、継続的支援資源の情報提供実施

3) 母親グループ事業

① 22期実績

個人別グループ参加頻度上位 20 位
2000.10~2022.03

2021年4月~2022年3月 母親グループ参加者内訳

年月	回数	参加者	託児数	新規参加
2021 年 4 月	3	0	0	0
2021 年 5 月	4	6	0	0
2021 年 6 月	4	7	0	0
2021 年 7 月	4	5	0	0
2021 年 8 月	3	4	2	0
2021 年 9 月	4	4	0	0
2021 年 10 月	4	7	1	0
2021 年 11 月	3	9	2	0
2021 年 12 月	4	9	2	0
2022 年 1 月	4	11	1	0
2022 年 2 月	4	6	0	0
2022 年 3 月	4	16	3	0
合計	45	84	11	0

登録者数 200人

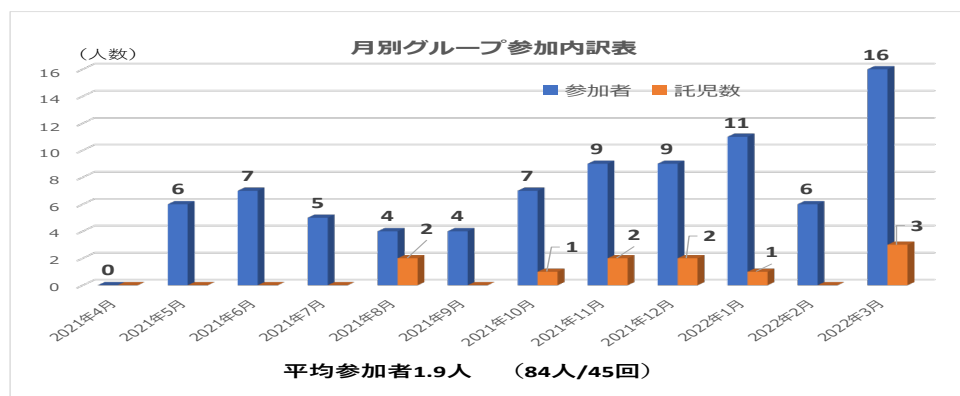
(参加者の新規参加日はそれぞれ異なります)

●今期は新型コロナウイルス対策のため、前期後期含め、7回をオンラインのみとしました。前期の参加者は延べ26人で平均1.2人、後期は延べ58人で平均2.5人となりました。後期の参加者は増加傾向でした。

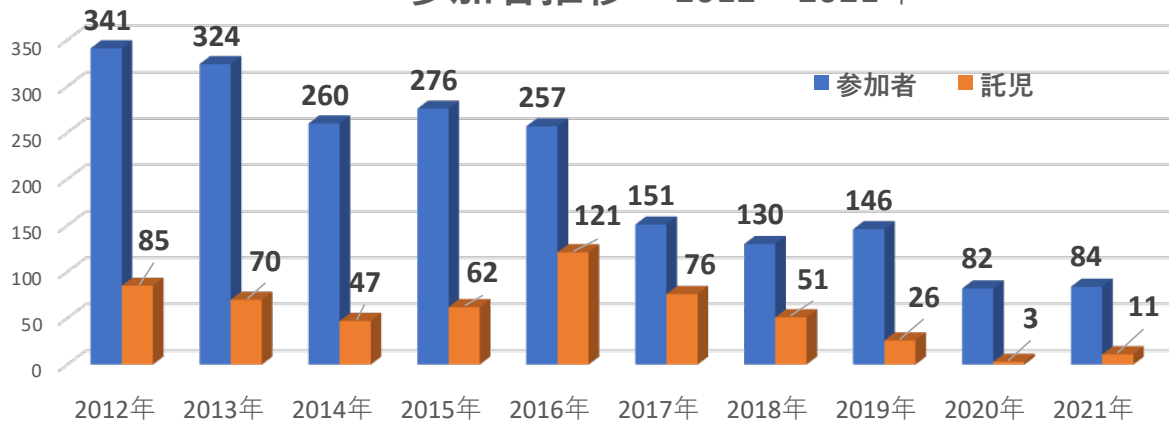
23期全体では延べ84人、平均1.9人となりました。前年度に比べ参加者はわずかながら増加しました。コロナ禍にあってもグループミーティングを必要とする参加者があり、感染対策をしてグループを開催しました。託児は11人と前期より8人増加しました。

●初回面談(新規参加者)はありませんでした。(相談電話の休止期間があったことやコロナ禍であったことが原因と考えられます)

順位	I D	回数(延べ)
1	47	246
2	152	209
3	37	186
4	60	162
5	131	156
6	97	154
7	136	139
8	91	133
9	78	123
10	92	121
11	99	120
12	164	118
13	135	112
14	70	108
15	74	108
16	79	103
17	150	97
18	108	93
19	168	86
20	32	84



参加者推移 2012～2021年



② 行政との情報交換

2022年3月9日 青葉区宮城総合支所保健福祉課で実施している子育て支援グループ担当者と当方の母親グループ担当者がグループのファシリテート等について情報、意見交換を行いました。

3. 広報・啓発

1) ニュースレター発行

58号 2021年 10月

59号 2022年 3月

2) 講演会・市民講座の開催

22期では感染対策のため開催しませんでした。

3) 報道取材

『育なびみやぎ2022』（河北新報出版センター）インタビュー掲載

4) 講師派遣

2021年

4月 2日 仙台市子供相談支援センター職員研修 講師派遣

5月 4日 子どもの村東北 職員研修 講師派遣

6月14日 みやぎ被害者支援センター職員研修 講師派遣

7月17日 チャイルドラインみやぎ 相談員養成講座 講師派遣

8月 4日 宮城県光明支援学校職員研修 講師派遣

9月28日 宮城総合支所 児童虐待に係る専門的助言 講師派遣

11月 6日 ママ・パパライン仙台子育て応援講座 講師派遣

10日 ホームスタートなとりHV 養成講座 講師派遣

23日 第13回 虐待防止・県北シンポジウム 講師派遣

30日 平針福祉会 福寿荘職員オンライン研修（名古屋） 講師派遣

12月 6日 みやぎ被害者支援センター研修 講師派遣

4. 予防活動

『子育て講座』活動報告

「子育て講座」の予防活動は10年が経過しました。5月からの講座は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止といたしました。トレーナーは、3名で活動を継続することができ、託児スタッフは電話相談員3名と、キャプネット会員1名から協力を得て、託児するお子さんの人数に合わせ、ローテーションを組みながら託児を行うことができました。受講者は10月の講座で3名でした。

セッションを進める中で、受講者には好意的に受け入れられる感じが感じられました。最終回の第6セッションは残念ながら受講者全員のご都合が悪く、開催がかなわなかったのですが、第5セッションまでの間に、以下の感想を受け取ることができました。

・「ほめるのは知っていたが、具体的に述べることはやってこなかったの、ロールプレイは自信になりました。」

・「3回目の受講だが、子供の成長と共にいろいろ悩むことがあり、今の我が子の年齢にそのまま使えるので有難い。」

今後も、それぞれの家庭の状況に合わせた練習をトレーナーが受講者と工夫しながら、講座を継続して開く意義が強く感じられました。

「第22回子育て講座」 2021年 10月2日・9日・16日・23日・30日
(毎週土曜日実施)

5. 調査・研究

第27回日本子どもの虐待防止学会かながわ大会へ参加し、虐待防止の最新の知見を深めた

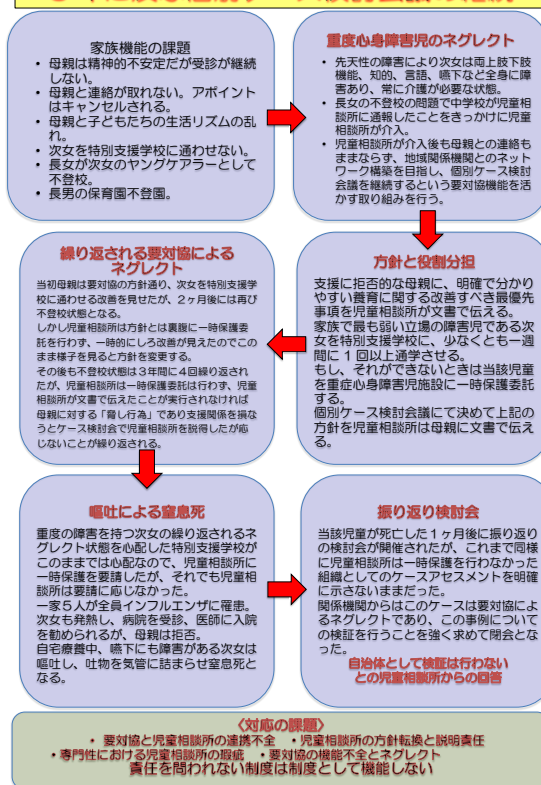
第27回日本子どもの虐待防止学会かながわ大会では以下の通りパネル展示発表を行いました。



要対協で救われなかった命 守秘義務のため事例の一部を変更している



3年に及び個別ケース検討会議の継続



6. 助成金・寄付

1) 助成金

虐待問題を抱えた母親のためのグループ・ワーク 仙台市補助金交付事業
427,160円

2) 寄付団体

日本基督教団北三番丁教会	15,000円
相談員有志による手芸グループ「青い鳥」	100,000円
日本基督教団仙台松陵協会	10,000円
社会福祉法人創生会大沢シニアタウン/コカ・コーライーストジャパン	6,830円

3) 物品寄付

・イオン仙台店 幸せの黄色いレシートキャンペーンより 49,600 円相当物品を贈呈されました。

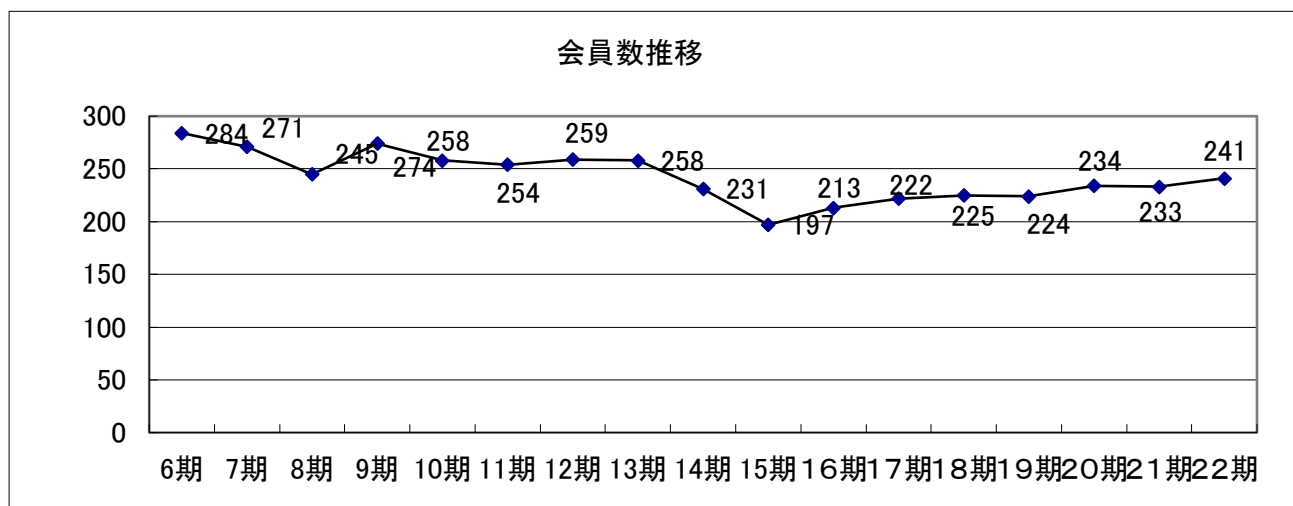
7. 政策提言

2019 年に仙台市で5件の虐待死事例が発生したことを受けて、仙台は2020年と2021年に「児童虐待死亡事例検証報告書」を発表しました。この検証報告で検証を行った仙台市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 措置・里親審査部会は「問題解決に向けての提言」を行っています。

この提言に仙台市はどのような虐待対応における改善策を打ち出すのか、私たちは注目しています。その要望書案を作成し、コロナ禍が収まるタイミングで提出を準備しました。

8. 組織運営

会員数推移



22期の会員数は微増であり、減少傾向には歯止めをかけることができました。

キャプネット・みやぎ 第22期 収支報告書			自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日			
一 般 会 計 の 部						
	科 目	金 額	摘 要			参考21期決算
収 入 の 部	会 員 会 費 収 入	759,000	個人・団体・法人			655,000
	寄 付 献 金 収 入	326,620	一般寄付			582,541
	企 画 事 業 収 入	125,600	講演会、講座受講料、テキスト代			453,300
	そ の 他 の 収 入	15,288	上記以外の収入			0
	受 取 利 息 (注 1)	28	預金利息			28
	前 期 繰 越 金 額	2,471,840				2,271,023
	収 入 の 部 合 計	3,698,376				3,961,892
	科 目	金 額	摘 要			参考21期決算
支 出 の 部	販 売 品 仕 入 高	0	ローズガーデン生花仕入代			8,400
	雑 給 与	170,850	小野精華 アルバイト			169,575
	企 画 事 業 費	30,024	研修・講座会場費用等			26,536
	交 際 費 / 修 繕 費 ・ 交 際 費	0	香典他／ネット修繕費・御礼			3,056
	旅 費 交 通 費	32,800	交通費・駐車料金			37,400
	通 信 運 搬 費	352,774	電話・郵送料等			334,652
	備 品 ・ 消 耗 品 費	44,668	事務所用消耗備品・消耗品			67,475
	事 務 用 品 費	49,007	文具他			26,623
	印 刷 費	36,329	印刷代			124,524
	水 道 光 熱 費	116,518	電気・ガス・水道代等			116,566
	諸 会 費	24,000	関係団体会費・参加費			19,000
	保 険 料	20,500	ボランティア保険			19,110
	研 修 ・ 会 議 費	100,360	Jasocan参加費他			0
	地 代 家 賃	480,000	事務所家賃			480,000
	支 払 手 数 料	12,000	振込手数料等			12,346
	特 別 事 業 費	140	21母親G自己負担金／20母親G自己負担金			38,975
	雑 費	0	その他の経費			5,814
	次 期 繰 越 金 額	2,228,406				2,521,840
	支 出 の 部 合 計	3,698,376				4,011,892
残 高 明 細	科 目	金 額				参考21期
	現 金	57,560	一般会計用現金残高			6,575
	仙 台 銀 行 1	860,369	一般会計用預金口座			134,782
	仙 台 銀 行 2	1,581	一般・基金併用預金口座の内			1,567
	預 け 金	99,952	一般・特別併用口座の内			52,748
	七 十 七 銀 行 3	741,420	一般・特別併用口座の内			838,332
	郵 便 振 替 口 座	573	会費・受講料等振込口座			32,973
	郵 便 貯 金	27,703	一般会計用預金口座			27,703
	未 収 入 金	439,248	21母親G助成金			1,427,160
	合 計	2,228,406				2,521,840

注1 預金利息は全額一般会計の収入の部に計上いたしました。

* 参考21期の残高明細合計額には50,000円の仮受負債が含まれているので実質残高は2,471,840円となる。21期貸借対象を参照。

第22期 合計損益計算書及び貸借対照表

勘定科目	一般会計	2021母親G会計G3	基金会計	合計
収入部				
会 員 会 費 収 入	759,000	0	0	759,000
寄 付 献 金 収 入	326,620	0	0	326,620
企 画 事 業 収 入	125,600	0	0	125,600
そ の 他 の 収 入	15,288	0	0	15,288
助 成 金 収 入	0	436,368	0	436,368
自 己 負 担 金	0	140	0	140
収 入 金 額 合 計	1,226,508	436,508	0	1,663,016
原価				
期 首 販 売 品 棚 卸	0	0	0	0
販 売 品 仕 入 高				
期 末 販 売 品 棚 卸	0	0	0	0
販 売 品 原 価	0	0	0	0
差 引 損 益	1,226,508	436,508	0	1,663,016
費用部				
雑 給 与	170,850	0	0	170,850
修 繕 費		0	0	0
企 画 事 業 費	30,024	0	0	30,024
広 告 宣 伝 費	0	0	0	0
謝 金	0	206,800	0	206,800
交 際 費	0	0	0	0
印 刷 費	36,329	140	0	36,469
旅 費 交 通 費	32,800	107,420	0	140,220
通 信 運 搬 費	352,774	2,688	0	355,462
消 耗 品 費	44,668	0	0	44,668
事 務 用 品 費	49,007	0	0	49,007
支 払 手 数 料	12,000	0	0	12,000
水 道 光 熱 費	116,518	0	0	116,518
諸 会 費	24,000	0	0	24,000
保 険 料	20,500	3,000	0	23,500
パ ー キ ン グ		0	0	0
機 材 購 入 費		0	0	0
研 修 ・ 会 議 費	100,360	0	0	100,360
地 代 家 賃	480,000	0	0	480,000
寄 付 金		0	0	0
会 場 賃 借 料		116,460	0	116,460
雑 費	0	0	0	0
特 別 事 業 費	140	0	0	140
費 用 合 計	1,469,970	436,508	0	1,906,478
再 差 引 損 益	△ 243,462	0	0	△ 243,462
他 受 取 利 息	28	0	0	28
21 期 損 益	△ 243,434	0	0	△ 243,434
前 期 繰 越 損 益	2,471,840	0	1,690,000	4,161,840
未 処 分 損 益	2,228,406	0	1,690,000	3,918,406
資産				
現 金	57,560	0	0	57,560
仙 台 銀 行 1	860,369	0	0	860,369
仙 台 銀 行 2	1,581	0	1,690,000	1,691,581
預 け 金	99,952	0	0	99,952
七 十 七 銀 行 3	741,420	0	0	741,420
郵 便 振 替 口 座	573	0	0	573
郵 便 貯 金	27,703	0	0	27,703
未 収 入 金 (注 2)	439,248	0	0	439,248
資 産 合 計	2,228,406	0	1,690,000	3,918,406
負債				
仮 受 金	0	0	0	0
負 債 合 計	0	0	0	0

注1 21母親G助成金は4, 4, 26入金されました。21母親G助成金(未収入金)は、一般会計口座に入金予定であります。

キャプネット・みやぎ 第23期 収支予算書 自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

一 般 会 計 の 部

	科 目	金 額	摘 要	参考22期決算
収 入 の 部	会 員 会 費 収 入	1,000,000	個人・団体・法人70万円+維持会員会費30万円	759,000
	寄 付 献 金 収 入	355,000	一般寄付	326,620
	企 画 事 業 収 入	130,000	講演会、講座受講料、テキスト代	125,600
	そ の 他 の 収 入		上記以外の収入	15,288
	受 取 利 息 (注 1)		預金利息	28
	前 期 繰 越 金 額	2,228,406		2,471,840
	収 入 の 部 合 計	3,713,406		3,698,376
支 出 の 部	科 目	金 額	摘 要	参考22期決算
	販 売 品 仕 入 高	0	フラワー会員廃止に伴う仕入費	0
	雑 給 与	175,000	経理アルバイト	170,850
	企 画 事 業 費	30,000	研修・講座会場費用等	30,024
	交 際 費 / 修 繕 費 ・ 交 際 費	0	お土産／香典他	0
	旅 費 交 通 費	33,000	交通費・駐車料金	32,800
	通 信 運 搬 費	350,000	電話・郵送料等	352,774
	備 品 ・ 消 耗 品 費	45,000	事務所用消耗備品・消耗品	44,668
	事 務 用 品 費	50,000	文具他	49,007
	印 刷 費	35,000	印刷代・コピー代	36,329
	水 道 光 熱 費	120,000	電気・ガス・水道代等	116,518
	諸 会 費	24,000	関係団体会費・参加費	24,000
	保 険 料	21,000	ボランティア保険	20,500
	研 修 ・ 会 議 費	100,000	学会等参加費・旅費	100,360
	地 代 家 賃	480,000	事務所家賃	480,000
	支 払 手 数 料	12,000	振込手数料・会費クレジット決済手数料	12,000
	特 別 事 業 費	10,000	19母親G自己負担金／18母親G自己負担金	140
	雑 費	0	その他の経費	0
	次 期 繰 越 金 額	2,228,406		2,228,406
	支 出 の 部 合 計	3,713,406		3,698,376

2022年4月～6月
活動報告

毎週木曜日母親グループ
毎月第2土曜日相談員定例会

2022年 4月

- 9日 運営委員会
- 16日 全体会議
仙台カウンセリング研究会 研修講師派遣

5月

- 11日 仙台市子供相談支援センター 研修講師派遣

6月

- 2日 仙台市要保護児童対策地域協議会 代表者会議
- 4日 運営委員会
- 18日 第23期総会
- 23日 河北新報社 参議院選に伴う虐待対策の国への要望について取材
- 28日 富谷市児童虐待防止連絡協議会 実務者会議
- 29日 若林区要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 30日 青葉区宮城総合支所要保護児童対策地域協議会 実務者会
宮城野区要保護児童対策地域協議会 実務者会



会員更新 ご寄附 ありがとうございました。
2022年3月～2022年6月 順不同 敬称略

<個人会員>

佐藤和美 小座間道子 佐藤せつ子 佐藤和枝 宮崎恵美 白石育子 足立裕子 富田量子 畑中智慧子
伊藤美子 師研也 渡邊文子 大塚憲治 荒中 内田正之 安部紀司 官澤里美 栗原千枝子 浅野孝雄
三浦摂郎 佐藤わか子 渡邊京子 平賀ノブ 中野憲司 太田洋子 スガワラアユミ 蛭名隆三
遠藤克子 横山浩之 山田かつ子 加藤真由美 藤野玲子 古積路子 齋藤和之 真山裕子 小野精華
小野敦子 根元こづえ 三星亜子 池田正代 松田雅子

<特別会員>

村田祐二 加藤純二 カトリック亙理教会オリーブの会 特定非営利活動法人仙台ダルク・グループ
大沼セツ子

<維持会員>

渡辺美智子 及川千恵子 齋藤智子 高木ひろ子 加藤裕子

<法人会員>

東北会病院

<ご寄付>

渡辺美智子 足立裕子 善積則子 イオンタウン泉 匿名の方

子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ
〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平 1-5-20-5F
半澤・村松法律事務所内
TEL/FAX 022-265-8867
mail zimukyoku@capnetmiyagi.org
URL <http://capnetmiyagi.org>